

下町河川 Tomorrow

東京都の江東内部河川流域連絡会の情報誌（会議録）

平成30年12月19日（水）

第64回（第10期第2回）江東内部河川流域連絡会を開催



会議の様子



- ・「第64回（第10期第2回）江東内部河川流域連絡会」を、午後2時から4時00分まで、江東区東大島文化センター4階 レクホールにて開催しました。
- ・都民委員11名、行政委員9名が参加しました。
- ・前回の会議内容の抜粋である『下町 Tomorrow 63号』が事務局より提示されました。
- ・議事に移り、『北十間川護岸建設工事』、『北十間川整備工事』、『扇橋閘門通航再開日のお知らせについて』などの説明が江東治水事務所からありました。
- ・その後、各区委員、続いて都民委員から情報提供が行われたあと、意見交換を行いました。

議題及び情報提供

1. 北十間川護岸建設工事（その2-3）

<江東治水事務所>



- 工事場所は赤丸で囲っているエリアで、江東内部河川の中でも北に位置する北十間川、その中でも西側の、隅田川の感潮を受ける河川での工事になります。
- この工事は、隅田川に近い枕橋と次の源森橋を挟んだ水域の北側の護岸の工事で、旧護岸の前に鋼管矢板を打ち込んで、巨大地震が来ても崩れない新たな護岸を造り、なおかつ河床のヘドロを掘削して綺麗にしながらか河積を確保すると同時に、その下の土を地盤改良して固め、さらに地震に対する強度を持たせます。
- 現在行っている工事は被覆コンクリート工といって、鋼管矢板の前面にパネルを貼り、後ろに鉄筋を組んでコンクリートを打設することによって、護岸としてより強度の高い物となります。また、護岸の後ろは土で埋戻して、テラスのような物が形成されていきます。
- 10月26日に現場見学会を開催しました。見学会には、地元の方だけでなく、大学生（芝浦工業大学、中央大学）にも参加していただき、工事発注者、施工会社も含めて、具体的な作業内容や、護岸の持つ意味をお話し、且つ、台船にも乗っていただいて、今後の利活用などについて、皆さんと一緒に考えました。
- 地元町会、専門家、河川部、墨田区、東武鉄道等、関わっている事業の方が参加した、「北十間川はこうかわる」ディスカッションでは色々な意見交換ができました。

2. 北十間川整備工事（その3）について

＜江東治水事務所＞

H30-31年度 北十間川護岸建設工事（その3）

資料3



- ・平成31年1月末で完了予定の「北十間川護岸建設工事（その2-3）」に引き続いて、反対側・南側について工事を行います。
- ・工事内容としては、「（その2-3）工事」と同様に、旧護岸の前面に鋼管矢板を打設して、河底の地盤改良をしていきます。

【意見交換】

◆都民委員 ◇行政委員

◆二つ質問があります。

鋼管杭の径のサイズ分、兩岸合わせて3～4m川幅が狭くなるようですが、機能面に影響がないのですか？

もう一つは、鋼管杭の寿命が4～50年程度と聞いていますが、次回に鋼管を打つ時には、また川幅が狭くなるのか、杭を抜くのかどうするのでしょうか？

◇機能面についてですが、江東内部河川は、神田川などの他の中小河川のように、降った雨を流すという機能は持っていませんので、洪水に対しては特段問題ありません。鋼管杭の寿命に関しては、表面をコンクリートで覆い、なるべく錆が進行しないように考えていますので、もっと長い期間持ちます。将来的な更新については、今のところは具体的な計画は持っていません。

◆船が将来的に、北十間川まで入って行けるのか気になります。将来計画はあるのでしょうか？

◇小梅橋の東側に北十間川樋門があり、水は通しますが船の行き来は出来ません。具体的な案はありませんが、今回樋門の耐震補強工事にあたって、将来拡張出来るように、真中にスペースは確保しています。

3. 扇橋閘門通航再開日のお知らせについて

＜江東治水事務所＞

- ・扇橋閘門通航再開日は、2019年8月1日を予定しており、12月3日よりホームページに掲載しています。付近の橋の横断幕の日にちの更新も行いました。
- ・2019年8月1日に通航再開いたしますが、扇橋閘門の構内についてはまだ工事中です。
- ・扇橋閘門は、11月より2019年1月末までイルミネーションを実施しておりますので、近くにお越しの際は是非ご覧ください。



【意見交換】

◆都民委員 ◇行政委員

- ◆扇橋閘門は今工事をしていますが、外から見るとかなり新しいコンクリートになっています。最終的にはどのような工事内容になるのでしょうか？
- ◇コンクリートは、耐震性を強化した新しい護岸になっています。そこだけ見るとほぼ完成しています。ただスパン、扇橋閘門より隅田川を向いて右側の船着場の所だけはまだ出来ていませんが、いずれは同じようなコンクリート護岸になります。
- ◆扇橋閘門の中に入れてもらい、見たことがあります。浮きドックのような感じですか？
- ◇そのような浮いた形の栈橋になっています。
- ◆今度はそういう形ではなくて、そのまま造るのでしょうか？
- ◇それに関しては調整中で具体的な形は示せませんが、新しい物に造り替えていくことになっています。

4. 各区からの情報提供

「両国ちゃんこ BOOK」



- ・墨田区の観光行政の一環で、冊子やパンフレットをたくさん作っております。
- ・この機会に近隣の皆さまに知ってもらいたいと思い、「両国ちゃんこ BOOK」を用意しました。
- ・河川情報を第一ですが、次回にはまた新しい観光情報も提供したいと思っています。

5. 都民委員からの情報提供

(1) 江東区カヌーマラソン 2019 (事務局代読)

- ・「江東区カヌーマラソン 2019」が、平成 31 年 2 月 3 日に、東側の水位低下河川、旧中川、北十間川、横十間川、小名木川で、周回約 10 km のコースにて江東区カヌー協会主催で実施される予定です。9 時 45 分にスタート位置に着いて、10 時にスタートです。
- ・会場は、旧中川の川の駅に隣接している中川大橋西詰の下で、ここからスタート。コースとしては、江東内部河川周遊・約 10 km コース、時間制限 2 時間です。

江東区カヌーマラソン 2019

～江東区長杯争奪戦クラブ対抗

2/3(日) 旧中川・北十間川・横十間川・小名木川 周回約 10 km!!

日	時	平成 31 年(2019)2 月 3 日(日) 10 時スタート →9:45 乗艇位置
	9:00	受付開始 (ゼッケンをライフジャケットの上に着用)
	9:30	開会式 (司会 実行委員会委員長 小松一彦)
		会長挨拶 江東区カヌー協会 会長 山崎 一輝 (都議会議員)
		来賓挨拶 江東区長 山崎 孝明
	9:45	乗艇開始 中川大橋南側 青色フロートの南側スタート位置へ集合完了
	10:00	スタート 10:00 レーシング艇スタート 10:02 ツーリング艇の部スタート
	12:30	閉会式開始 レース終了 (目安:レーシング艇 1 時間・ツーリング艇 2 時間)

会 場 江東区大島・川の駅(中川船番所資料館隣接・中川大橋西詰下)

(2) 水辺魅力アップ事業 〈東京都公園協会〉 (事務局代読)

① 「隅田川花守さん支援事業」

- ・地域ボランティア「花守さん」と連携した隅田川テラス花壇の管理で、地域の方が植えていくのを援助するなどを行っています。

② 「隅田川を活用した講座・イベント実施」

- ・明治大学と連携した風鈴づくりのワークショップや、フォトグラファーの先生をお呼びし、写真の撮り方や写真講座など、隅田川フォトウォークを実施しています。

③ 「隅田川のフォトコンテスト実施」

- ・定例で行っており、主旨は隅田川を中心とした東京水辺空間の魅力発信を目的に、「東京水辺百景フォトコンテスト」を行っています。

④ 「隅田川周辺に特化したマップ発行」

- ・散策コースなどを選定して、その中の見どころなどを紹介しています。

⑤ 「隅田川を中心とした情報発信」

- ・ネットなどで、「隅田川テラス花壇情報」や、「隅田川バードウォッチング」など色々な情報を発信しています。

⑥ 「河川清掃等ボランティア団体助成事業」

- ・河川清掃の団体等に、限度額を決めて助成金を支給する等、志のある団体に援助するもので、申請を受けて認定した後に補助をしています。



(3) その他の活動 〈東京都公園協会〉 (事務局代読)

⑦ 「東京水辺ラインを活用した防災訓練」

- ・東京水辺ラインは27年間運航しており、これを使った防災訓練を実施しています。
- ・東京都は船を3隻所有しており、災害時には救急隊とか、医療チーム、緊急物資等の輸送を担う防災船としての役割を持っています。
- ・東京都をはじめ、海上保安庁、警察、消防等と連携して防災訓練を行っており、発災時には、帰宅困難者や、緊急物資の輸送等の役割を持っています。

⑧ 「東京水辺ラインによる船旅の提供とイベントの実施」

- ・「江戸東京ぶらり旅」、「いちにちゆらり旅」、「ロマンチックナイトクルーズ」等、東京水辺ラインによる船旅やイベントを実施しています。

5. 意見交換

【意見交換】

◆都民委員 ◇行政委員

- ◆1590年8月1日に徳川家康が入府しました。これを記念してカヌーパレードの企画も考えていますので、扇橋閘門の8月1日開通は、延長のないよう、必ずその日に船が通れるようお願いしたい。
あと一つ、北十間川は、東武鉄道の高架下に理想的な空間があります。「水の都市大坂」に劣らぬ素晴らしい水辺環境空間を作っていただきたい。
- ◇扇橋閘門の通航再開日の8月1日については、厳密に工程管理を行っており、外的な要因がなければほぼ間に合うと考えています。
- ◇墨田区から東武鉄道の高架下、それと隅田公園と一体化した整備の狙いなどについてお話しします。私どもは河川部と協力して、「水辺のにぎわい創出」について観光資源として区も掲げて取り組んでいます。
東武鉄道も同じ意識で、許認可を受けてテナントを作っていく予定です。テナントの具体的な詳細は決まっていますが、期待してお待ちください。
墨田区はエリアマネジメントという手法を導入し、東武鉄道をパートナーとして、まちづくり地域活性化に取り組んでいます。期待していただければと思います。
- ◆北十間川の護岸工事が完成したら、枕橋からスカイツリーへ歩く人が増える要素がありますので、是非実現して欲しい。
- ◇枕橋などを含めて、隅田川を渡ってスカイツリーを目指す沢山の外国人の方のコースに、当該コースが該当しています。護岸が完成すれば、一大観光ルートになる可能性がありますので、さらに活性化に取り組んでいきたいと思えます。
- ◆東京オリンピックに向けて、羽田から隅田川を利用して、ゆっくり船で行くルートは考えていますか？
- ◇舟運の活性化という観点で、数年前から国も東京都も色々実験しており、そのコースもやってみました。羽田から運河を北上して隅田川に入り浅草まで来るこのコースは、2時間くらいかかり評判が上がりませんでした。収益の面でビジネスには向かないルートだと思いますが、「何か工夫出来ないか」について色々考えているところです。

流域連絡会の今後の予定

- ・「第3回江東内部河川流域連絡会」は、現場視察を企画いたしました。
平成31年2月20日、水曜日、午後2時に吾妻橋防災船着場に集合、4時半までの予定で、水辺ラインの船を使って実施いたします。
- ・見学を企画した目的は、臨海部の東京オリンピック・パラリンピックの会場の工事状況及び、変わりゆくお台場方面などを、船から見ていただくことです。